

議会だより



あまがさき

令和6年
3月定例会

令和6年4月25日
第131号



目次

- 令和6年度 当初予算 P 2～3
- 【令和6年3月議会】 提案された議案等の議決結果 P 4～5
- 3月定例会 議案審議 P 6～7
- 令和6年度 一般会計 P 8
- 一般質問 P 9～15
- 委員会審査報告 P16～17
- 編集後記 P18

しを天城町の皆様に はそれぞれ66億2319万1千円～

令和6年度
当初予算



WakuWaku 紙おむつ給付事業



192万円

町内で使用できる給付券、
月額4,000円を支給。
(対象児：0歳～満1歳)



天城町公式 LINE 配信サービス開始



100万円

各課の情報を提供します。
是非、お友達登録をしてください！

空き家バンク登録 お片付け支援補助金



30万円

空き家の片付けの
際に出る不用品の
処分費用などを1
件当たり5万円を助成します。まずは、空き
家バンク登録を！

補正予算の主な質疑

問 水利施設管理強化事業補助金費
700万円の内容について。

答 水利施設の末端施設整備として計上
した。国が二分の一、三町で二分の一で
予算措置ができた。

問 農村環境計画策定業務委託
624万8千円の内容について。

答 平成14年の田園マスター計画で畑か
ん事業を進めてきた。畑かん等の更新事
業導入には計画策定が必要をなる。他町
も策定し事業獲得に向けて動いている。

問 里山等保全管理促進委託の内容と委
託先について。

答 松くい虫の被害予防のため薬剤の樹
幹注入を行う。森林組合に委託し与名間
林道及びクロスカントリー敷地等の松を
対象としている。

問 徳之島自然遺産センター建設は環境省
が行っているが本町からの人件費の予算が
一部組まれている理由について。

答 徳之島全体の自然遺産の窓口となる
施設であり本町の景勝地や自然遺産など
入込客数を増やせるよう努めていく。ま
た、自然遺産センターから案内による入



より良い暮らし ～歳入・歳出の総額

動画はコチラ
1:43:05～

農業センター 農業電子図書導入費



10万5千円

作物栽培の悩みや課題に応える情報が得られます。是非ご活用ください。

書かない窓口導入開始



600万円

役場の窓口で運転免許証やマイナンバーカードを専用の機器で読み込むことで氏名・住所などを書かずに申請書を作成できるようになります。

新築住宅取得補助 します

1,000万円



令和6年度に天城町内に新築住宅を取得する世帯に対して上限100万円の補助をします。

さとうきび手植え 奨励補助額を増額

195万円



さとうきびを手植えされる農家に対し10aあたり春植え4千円、夏植え5千円を助成します。

込客数の把握もじっくり行いたい。

問 海岸漂着物地域対策推進事業費が前年度比より落ちているがその理由について（海岸漂着ゴミの量は減っていないようだがどうしてか）。

答 近年各地で発生している災害等の影響もあり国からの補助が少なかったと考えている。会計年度任用職員を7名から4名に減らしたが、短期勤務職員として、台風接近後などゴミが増えるときに対応できるように予算を組んである。

問 平和東線、前野岡前横断線の予算組と工事の進捗の見通しについて。

答 平和東線の用地購入はすべて終了し、取付道路の工事も、影響の出る範囲に関してはこの事業内で実施し、完了は令和8年度を予定している。前野岡前線は、用地購入、工作物移転等に予算を使用し、工事着手は令和7年度に着手し完了は令和10年度の予定である。

問 産科医等確保支援報償の内容と不妊治療の先生確保にも充てられないか。

答 三町で徳洲会病院に産科等の先生の来島する際の費用を負担するものである。医療機関あり方検討会の中でそのような要請もしていく。

【令和6年3月議会】提案された議案等の議決結果

		件 名	議決結果
3 月 議 会	条 例	樟南第二高等学校学生寮の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
		内容 樟南第二高等学校学生寮の3月竣工予定に伴い、その設置及び管理に関する事項を決めた。	
		天城町犯罪被害者等支援条例の制定について	原案可決
		内容 犯罪等により被害を受けた方及びその家族又は遺族が早期の回復又は軽減及び生活の再建を図り、誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指して必要な事項を決めた。	
		天城町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
		内容 天城町報酬及び費用弁償等に関する条例の別表第1欄中の投票管理者、投票立会人、期日前投票管理者、期日前投票立会人の日額単価の改定、及び、新たに天城町農業農村整備事業情報協議会の日額報酬3千円を追加した。	
		天城町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
		内容 会計年度任用職員の勤勉手当について支給が可能となることに伴い、所要の改正を決めた。	
		天城町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
		内容 「天城町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画」が今年度で終了する事から、国において第9期計画期間に向けた制度改正が行われた。それに伴い、天城町介護保険条例の一部改正を決めた。	
		天城町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決
		内容 県において令和6年7月診療分より現行の償還払い方式から自動償還払い方式への変更及び所得制限の導入のほか、新たに精神障害者保健福祉手帳1級の所持者を対象に加えるなど、重度心身障害者医療費助成制度の改正が行われる。それに伴い、町条例の一部改正を決めた。	
		天城町B&G海洋センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
		内容 小・中学生及び高齢者の運動不足解消のために、B&G海洋センター内のプール及び体育館を積極的に利用して頂きたい、使用料金の無償化についての追加を決めた。	
人 事	天城町教育委員会委員の任命の同意について(崎山 至氏)	原案同意	
	内容 令和6年3月31日付けで崎山 至教育委員が任期満了となっており、引き続き教育委員に任命することを同意した。		
	人権擁護委員候補者の推薦に対する議会の意見を求める件について(豊 啓子氏)	原案同意	
	内容 令和6年6月30日付けで任期満了に伴い、人権擁護委員候補者として豊 啓子氏を推薦することを同意した。		
そ 他	天城辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決	
	内容 天城辺地に係る公共的施設を令和3年度から令和7年度までの期間で総合的に整備するため、総合整備計画を策定しましたが、その内容の一部を変更を決めた。		
	天城町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決	
	内容 令和3年度から令和7年度までの期間に係る過疎地域持続的発展市町村計画を策定したが、その内容の一部を変更を決めた。		
	令和4年度(繰)あまぎ自然と伝統文化体験館建築工事請負変更契約について	原案可決	
	内容 令和5年7月7日に請負契約を締結しました、令和4年度(繰)あまぎ自然と伝統文化体験館建築工事の請負変更契約を決めた。		
	令和5年度 樟南第二高校女子寮建築工事1工区請負変更契約について	原案可決	
	内容 令和5年7月25日に請負契約を締結しました、令和5年度 樟南第二高校女子寮建築工事1工区の請負変更契約を決めた。		
令和5年度 補正予算	令和5年度天城町一般会計予算補正(第6号)について	原案可決	
	内容 歳入歳出予算にそれぞれ2億4千315万2千円を追加し、予算総額を80億3千62万5千円とした。		
	令和5年度天城町国民健康保険事業特別会計予算補正(第4号)について	原案可決	
	内容 歳入歳出予算にそれぞれ5千80万1千円を減額し、予算総額を10億5千266万7千円とした。		

		件名	議決結果
3 月 議 会	令和5年度 補正予算	令和5年度天城町介護保険事業特別会計予算補正(第4号)について	原案可決
		内容 歳入歳出予算をそれぞれ1千995万9千円を減額し、予算総額を8億9千416万8千円とした。	
		令和5年度天城町後期高齢者医療事業特別会計予算補正(第3号)について	原案可決
		内容 歳入歳出予算からそれぞれ209万円を減額し、予算総額を8千475万8千円とした。	
		令和5年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計予算補正(第4号)について	原案可決
		内容 歳入歳出予算にそれぞれ400万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7千811万円とした。	
		令和5年度天城町水道事業会計補正予算(第4号)について	原案可決
		内容 営業費用の原水及び浄水費で、110万円の減額、配水及び給水費で、110万円の増額、総経費で、36万6千円の減額、資本的支出の固定資産購入費で、94万4千円の減額。また、水道事業費用で、総額で、2億318万7千円、資本的支出で、3億7千8万4千円とした。	
	令和6年度 当初予算	令和6年度天城町一般会計予算について	原案可決
		内容 66億2千319万1千円で、前年と比較し1千666万9千円の減額とした。	
		令和6年度天城町国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
		内容 9億6千693万3千円で、前年度と比較し1千451万4千円の増額とした。	
		令和6年度天城町介護保険事業特別会計予算について	原案可決
		内容 8億3千660万5千円で、前年度と比較し1千584万円の増額とした。	
		令和6年度天城町後期高齢者医療事業特別会計予算について	原案可決
		内容 9千620万3千円で、前年度と比較し1千82万円の増額とした。	
		令和6年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計予算について	原案可決
		内容 6千266万1千円で、前年度と比較し1千15万8千円の増額とした。	
		令和6年度天城町水道事業会計予算について	原案可決
		内容 7億1千317万7千円で、前年度と比較し1億4千279万4千円の増額とした。	
	陳情2	自衛隊誘致に関する陳情について	採択
		内容 住民の安心・安全確保や防災、地域活性化の観点からも必要不可欠な問題であり、賛同し採択すべきではとの意見が多数を占め、全会一致で採択とした。	
	議会が提出 した案件	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可決
		常任委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可決
		議員派遣予定の件について	可決
		徳之島に於ける自衛隊関連施設整備に関する意見書(案)について	原案可決
		内容 昨今の国際情勢や我が徳之島の地理的重要性を、国として再認識して頂き、南西地域における中継拠点としての空港・港湾等の機能強化整備や、物資・資機材の補給拠点施設等の整備等を推進して頂きたい旨の意見書提出を決めた。	



3月定例会 議案審議



動画はコチラ
9:18～

樟南第二高校学生寮 建築工事請負変更増契約

契約増額

731万1千円

内装の仕上げなどの設計変更及び機器の変更等にかかる費用。

樟南第二高校学生寮の 設置及び管理に関する 条例の制定



補正予算の主な質疑

〔樟南第二高校学生寮設置及び管理に関する条例の制定について〕

問 第6条損害賠償等の範囲として、寮内に設置されている電化製品等の経年劣化に伴う更新については町の負担となるのか。

答 樟南第二高校と、不動産使用貸借契約を結ぶ予定となっており、費用負担等を定める条項の解釈として、原則、高校側が管理運営に関するすべての費用を負担するものとし、火災保険の適用を超えるような修繕が必要となった場合においては被害規模に応じて協議するものとする。則ち、建物内の設備等の更新の負担は学校側である。

〔天城町犯罪被害者等支援条例について〕

問 第6条相談窓口の担当課について。

答 条例制定に向けて徳之島警察との協議を企画財政課で行ってきた。窓口も同課に設置するが、事例に応じて関係課と連携をとっていく。

〔樟南第二高校学生寮建設請負変更契約について〕

問 仕上げの変更、機械設備の変更もあったとのことだが設計した会社の不備もあるのでは。

プール施設 区分	単位	使用料	備考
未就学児 (要付き添い同伴)	1人1回	無料	シャワー含む
小中学生	同上	200円	同上
町内居住 小・中学生	同上	無料	同上
高校生・一般	同上	300円	同上
町内居住 65歳以上	同上	無料	同上

体育館 区分 (基本料金)	団体使用		個人使用			
	体育スポーツ に使用する 場合	その他催し物 に使用する 場合	中学生以下		高校生 一般	町内居住 65歳 以上
			町外	町内		
9時～ 12時	500円	1,200円	50円	無料	100円	無料
12時～ 17時	800円	1,500円	50円	無料	100円	無料
17時～ 22時	1,500円	3,000円	50円	無料 (保護者同伴)	100円	無料

天城町B&G海洋センター プール・体育館の 使用料が無料に

(町内の小中学生・65歳以上)



あまぎ自然と伝統文化体験館 建築工事請負変更減契約



契約減額

4,929万円

技術者や職人等の不足により契約工期内での工事終了が見込めず変更減契約を結ぶこととなった。

- 答** 仕上げの変更等、工事中の変更はあるもの。設計会社からの提案の他、建設課からの提案による変更もある。その都度協議を行って変更内容は決定します。設計書内における材料の数量等の確認についても不足があり、役場・受注業者共に責任があると考えているので、設計会社だけの責任ではないと考えている。
- 問** 女子寮建設は他の工区もあるが工事費用の変更はなかったか。その変更額の大ささ工事費に対する割合によっては責任を負う必要もあるかと思うが。
- 答** 第一工区にも変更があったが、5000万円を超えていないので議会で諮ることはないが、今後はこのような変更がないように、設計書の確認等丁寧に行う。
- （あまぎ自然と伝統文化体験館建設工事請負変更契約について）**
- 問** この事業は過疎債を活用して予算立てを行っており、今回の請負減契約においては、過疎債の減額にもなると思うが、国からのペナルティーなど町として不利になることはないのか。
- 答** 減額した額で過疎債の申請を予定しており、その額の確定は未定である。ペナルティーはないと考えている。

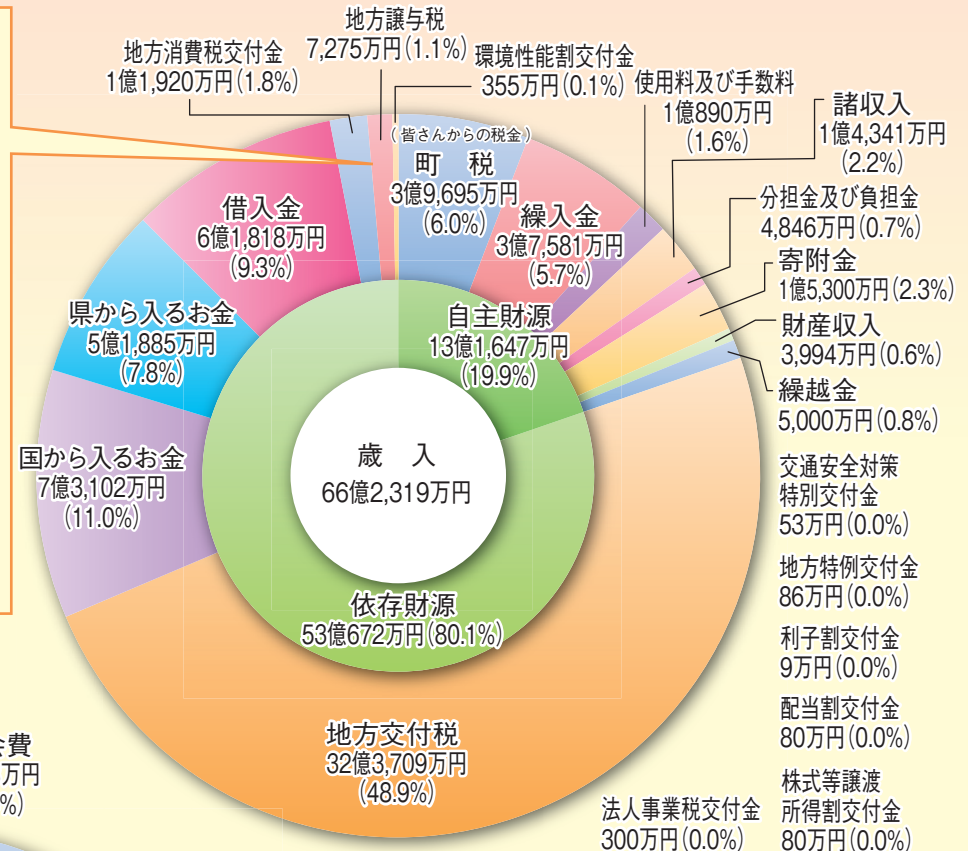
令和6年度一般会計当初予算 66億2,319万円に決定

(前年度比 1億6,669万円、0.3%減)

「住んでよかった。これからも住み続けたい。暮らし満足度 No.1 のまち」を目指して～
令和6年第1回定例会を3月5日から21日まで開催しました。6年度当初予算や令和5年度の補正予算など25議案が提出され、そのうち25件について可決しました。一般質問では、8人の議員が質問を行いました。

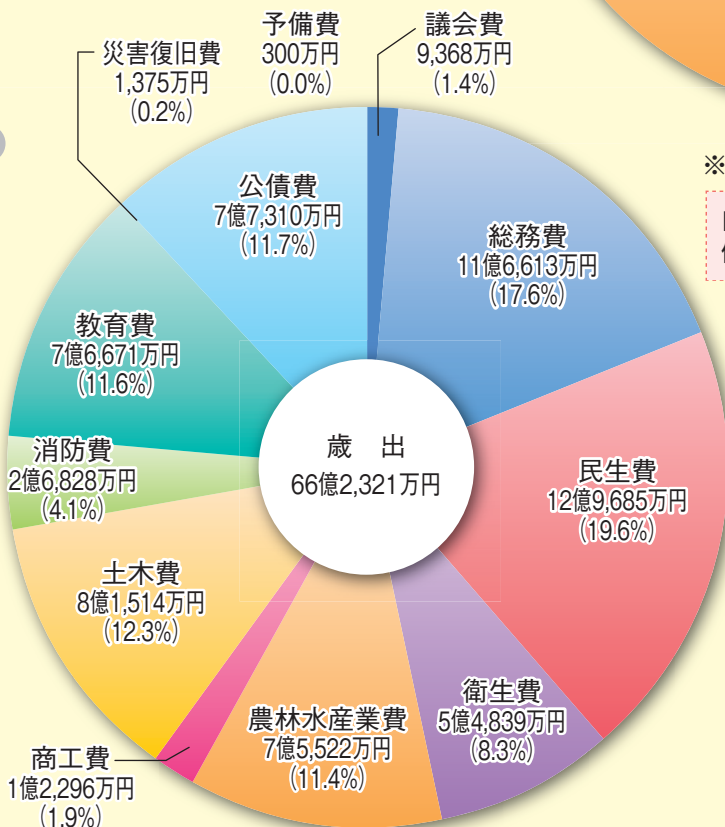
町税の内訳

区分	金額	
町民税	1億3,054万円	
内	個人	1億1,387万円
	法人	1,667万円
固定資産税	1億7,395万円	
軽自動車税	3,045万円	
町たばこ税	6,200万円	
鉱山税	1万円	



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

自主財源…町税など自主的に収入する財源
依存財源…地方交付税など、国又は県から交付される収入



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

R6年度特別会計当初予算額

国民健康保険会計	9億6,693万円
介護保険会計	8億3,660万円
後期高齢者医療会計	9,620万円
徳之島ダム小水力発電会計	6,266万円

R6年度水道事業会計当初予算額

収益的収入	2億5,186万円
資本的収入	4億7,560万円
収益的支出	1億9,281万円
資本的支出	5億2,036万円



奥 好生 議員

動画はコチラ
1:55:12 ~



問 保育所職員の処遇改善を

答 検証し、是正していく

問 保育所職員の処遇改善について。

答 性別によって待遇の差があつては良くないと思つている。しっかり検証し、是正できるところはしていければと思つている。

問 さとうきび農家の所得向上について。

答 令和6年度の春植え、夏植えの手植え奨励助成については、1千円上乘せして、10a当り春植え4千円、夏植え5千円とする。企画財政課（ふるさと創生室）ではUターンの新規就農者へ助成事業ウエルカムあまぎ引越費用補助事業・お帰りなさい住宅改修補助事業（Uターン者限定）の周知を図っている。

問 秋利神キャンパスパークについて、

グラウンドゴルフ場として再整備する計画案について。

答 南側に8ホールを2コース、北側に8ホールを1コース整備する予定。また、北側のログハウスを南側に移設してクラブハウスとして利用することを検討している。橋の欄干は非常に腐食している、現在、通行止めになっているが橋自体は強度的に異常ないので欄干をリフォームして使用する考えである。令和6年度で実施計画を行い、令和7年度で工事着工を予定している。北側の釣り場に行く道についても、釣り人が楽しめるような施設となるように対応していく。

問 西阿木名小中学校校舎建替え及び義務教育学校開校について。

答 義務教育学校開校については、令和8年度の開校を目指し、令和6年度より町研究協力校に指定し、義務教育学校開校に向けた教育課程の編成等の準備を進めていく。校舎建替えについては、校区内で設置された新校舎建設推進委員会と並行して新校舎建設検討委員会を立ち上げ、令和6・7年度にかけて今後の課題やニーズ等に対応できるように計画を推進していく。令和8年度に新校舎建設の着工を考えている。

問 徳之島高校通学費助成について。

答 バス通学に係る

定期券又は回数券購入費を全額助成しているが、令和2年度・令和4年度2件、令和3年度は0

件。今年度は、2月1日現在実績はありません。部活動等で放課後遅くまで残る生徒にとっては、バスを利用しにくいために保護者が学校まで送り迎えをしていると認識している。来年度からは車等の燃料代等の助成も検討していく。

問 教育振興基本計画の見直しについて。

答 5カ年計画で策定されている本町教育振興基本計画は、本年度が見直しの年度となっている。2月に策定された本町教育大綱を基に、現在、教育委員会で見直しを行っている。

6月までに策定したいと考えている。

問 教員の人事異動の取り組みについて。

答 各学校の課題解決や特色ある学校づくり、教育活動の更なる充実に向け、適材適所の教職員配置を県教育委員会へ内申している。

問 図書館の活性化について。

答 徳之島町立図書館と本町図書館の休館日が重ならないように月曜日休館を変更することについては、2月に開催した第3回天城町立図書館協議会での委員の意見等を参考に、試験的に休館日を変更し、その結果を受け対応していく。



松山 小百合 議員

動画はコチラ
1:57:16 ~



問 要介護認定前の公的支援拡充は

答 検討する

問 居宅介護住宅改修について限度額(20万円)を超えた分を町で助成できないか。

答 介護の支援拡充について寄り添うという視点で検討したい。

問 天城町の農業振興について。

答 島農業復活プロジェクト始動。

町内の耕作放棄地の現況を把握し、新たな地域産品の開発の必要性について、農業委員会の活動内

問 商業基盤施設建設は。
答 今のところは検討していない。これまで行っている平土野地区商店街の活性化への施策の費用対効果の所見及び商業基盤施設整備の必要性について質疑を行った。質疑の

狙いとしては、30年先を見据えた抜本的な天城町の商業基盤整備の必要性についてじっくり検討してほしいというところであった。商工会、商店街の皆様と対話の中で模索していきたい。

<p>手すりの取付け</p>	<p>段差の解消</p>	<p>すべりの解消</p>
<p>引き戸等への取り替え</p>	<p>洋式便器等への取り替え</p>	<p>付帯して必要な工事</p>

介護保険の住宅改修とは？



島 和也 議員

動画はコチラ
7:53 ~



問 生ごみの有効活用を

答 堆肥化も視野に入れ計画する

問 町内の生ごみ処理について、現在計画中の堆肥センターにて有効活用出来ないか伺いたい。

答 環境面においては、生ごみ問題、農業面においては、自給肥料活用の推進が課題となつている。特に生ごみについては燃えにくいので運営の大きな負担となつており、この生ごみを資源として堆肥活

用することは、大変有意義だと考える。牛糞やキビの搾りかすも堆肥化を進めると共に、生ごみを含めた未利用の資源の堆肥化も視野に入れ計画を進めていく。

問 夏場の作物推進について、冬場の園芸作物は多く有りますが台風被害に強い夏場の作物を推進していく考えは無いのか伺いたい。

答 夏場の園芸作物

は喫緊の課題だと考えている。「島農業復活プロジェクト」の取り組みとして、過去に家庭で盛んに栽培されていたサツマイモを夏場の作物として試験栽培していく。町内での加工製造が前提とはなるが、今年40aの試験栽培を行い、作型や収量、加工効率などを実証していく。今後天城町の注目作物として栽培を構築していく。

問 化学肥料に頼らない有機肥料を中心とした農業を推進していく考えが無いか伺いたい。

答 国においても化学肥料の低減を推し進めており、本町においても、化学肥料2割低減に向けた補

助事業を実施している。有機肥料の必要性は今後ますます増していくもの考える。

農家の皆さんや消費者の皆さんのニーズを把握しながら、化学肥料に頼りすぎない足腰の強い農業を推進していく。

問 法面管理について、平土野地区における急傾斜地未施工部分の工事が出来な

いか伺いたい。
答 県によりますと、『平土野地区の急傾斜地崩壊対策事業は昭和60年から平成16年にかけて推進してきた。要望のあった斜面は、この事業で施工予定であったが、用地取得等の理由により施工されていない状況です。この事業の導入の検討にあたって

は、町にも用地関係等の調査協力をお願いしたい。』との回答であった。

町としても、未施工部分の解消に協力していきたいと考えたい。

問 南部地区の兼久振興センター内へ屋外遊具の設置が出来ないか伺いたい。

答 兼久振興センターは、現在、民間に、貸し付けているが、駐車場の遊具の設置による貸し付けスペース減少等を相

手方と協議し、了承が得られれば設置を検討できると考えている。

問 親子で遊べる大型屋内遊具を町内へ建設できないか伺いたい。

答 現在、町内の屋外遊具は充実しておりますが、梅雨時期や夏場は利用しづらいことがある。そのような時に屋内で遊べる施設があること、より子どもたちの健全な心身を育むことができることを考えている。大型屋内遊具の建設については、予算面などをB&G財団と協議を致しまして海洋センター体育館の側面を利用出来ないかをこれから検討していく。



湾屋川史跡公園の遊具



議員 大吉 皓一郎

動画はコチラ
1:38:00～



地球温暖化対策実行計画は

環境学習、普及啓発等を充実

問 天城町地球温暖化対策実行計画の具体的な説明。

答 昨年10月から「天城町地球温暖化対策事項計画」の策定に取り組んできた。方針として環境学習、普及啓発イベントの機会の充実・広報誌・A・Y・T・S・N・S等を活用し情報発信する。省エネにつながる行動・活動の推進・日常生活における3R(再

生利用・再使用・発生抑制)・食品ロスの減量化、地産地消の推進。脱炭素Xスマー トムーブ(公共交通利用の促進・自転車・徒歩での移動促進・エコドライブ実践の促進)。まちの産業の持続的發展・遊休地等を積極的に活用・営農型太陽光発電の導入検討・畜産業で発注するメタンの排出削減。災害に強いまちづくりの

推進・津波、浸水、土砂災害に強い各地区に太陽光パネル蓄電設備に努める。

問 農道兼久天城南部1号線の改修について。

答 兼久集落と犬の門蓋を結ぶ道路(80m)で農作業車の通行が多く又観光客車や観光バスも利用している交通量の多い所で路面浸食が進んでいる状態になっている。水たまりもあるのでコンクリート舗装をする。

問 通作条件整備(兼久・瀬滝地区)の整備路線について。

答 兼久・瀬滝地区の整備路線については令和5年度から9年度にかけて兼久地区6路線全体延長3,220m、瀬滝地区6路線全体延長4,100mの整備を予定している。老朽建物については、リフォーム事業の活

用、空き家バンクへの登録及び除却事業などがある。街路樹は高木は交通に支障がないよう町管理。低木(シヤリンバイ)等の剪定は集落でお願いしたい。

問 瀬滝三京線(愛心園入口)の舗装はどのようになっているか。

答 県との協議の結果、過疎債を前倒しして予算化し繰越事業として集落環境整備事業で140mアスファルト舗装工事を計画している。

問 平土野地区の整備(道路・側溝・老朽建築物・街路樹)について。

答 商工会事務所前の通り(高釣通り)は県との協議の結果、過疎債を前倒して3月議会で6号補正し繰越事業として集落環境整備事業で舗装工事・排水工事を計画している。老朽建物については、リフォーム事業の活

用、空き家バンクへの登録及び除却事業などがある。街路樹は高木は交通に支障がないよう町管理。低木(シヤリンバイ)等の剪定は集落でお願いしたい。

問 医療・控除について。

答 高額療養費制度として医療機関や薬局の窓口で支払った金額が、ひと月の自己負担の上限額を超えて支払った分について支給対象となる。支給対象者にけんこう増進課より申請書の送付を行い、その申請書の提出後に支給を行っている。

問 教育委員会の各施設・各種事業は適正に運営されているか。

答 天城町中学生海外派遣事業は、10月にアメリカ・カリフォルニア州へ中学生4名の派遣を10日間計画している。自主的学び応援事業については、これまで16名の生徒が島外の学習塾夏期スクーリングに参加している。今年度からホテルを利用し団体生活をしながらスクーリングに行けるようにする。自らの目標達成に向けてチャレンジする生徒の支援に努める。



問 兼久集落県道ボトルネック解消を

答 解消に向け町も県に協力する



喜入 伊佐男 議員

動画はコチラ
1:37:39 ~



問 兼久集落における県道のボトルネック解消に向け、遺跡発掘終了後の工事着工の見通しはどのようになっているか。

答 県によると、『県道伊仙天城線の兼久郵便局付近の埋蔵文化財調査については、県立埋蔵文化財センターにおいて実施しており、令和5年度、歩道部分の調査箇所発掘調査を終えた。今後、現在の車道部分の試掘を行い、更なる発掘調査の必要性を検討する。徳之島事務所としては、

早期整備を望む地元の声は理解しており、ポトルネットワークの早期解消に向けて、県立埋蔵文化財センターへ協力していく。』との回答である。

町としても、ポトルネットワーク解消に協力していく。

問 県道83号線改良工事における用地取得の進捗状況について。

答 県によると、『現在、整備を進めている県道伊仙天城線の真瀬名工区については、測量設計を終え、現在、用地の買収を進め、令和5年度から盛土工事に着手した。用地の取得状況については、現在、約8割（筆ベース）の用地を取得したところである。』との回答である。

問 県道83号線改良工事における橋梁設計図及び仮橋設置に伴う用地取得の進捗状況について。

答 県によると、『橋梁の設計を終え、現在、用地の買収を進めている。橋梁建設時の仮橋設置、いわゆる迂回路部分の用地については、今後、迂回路を整備する際に、土地所有者と借地契約を行う予定。』との回答である。町としても、真瀬名工区の早期完成にさらに協力していく。

問 災害時に備え、AED（自動体外式除細動器）を集落公民館へ設置できないか。また、国等の事業で避難場所の用地取得及び公民館建設に対する補助金等はないか。

答 現在、集落公民館におけるAEDの設置はない。役場や町内公共施設、学校教育施設等には設置済みであります。緊急時に直面した際、多くの方が操作方法を習得し実用できるかが課題でもある。計画的に徳之島地区消防組合へ研修を依頼し、職員・町民向けの救急救命講習を行っていく。集落公民館への設置につきましては、今後検討していく。避難場所の用地取得及び公民館建設に対する補助金については、把握はできていないが、順次、指定避難所の防風・防水対策・バリアフリー化など機能強化を図ることを目的に、奄美群島成長戦略推進交付金を活用し、改修工事を実施する。



議員 辰二 柏木

動画はコチラ
3:51 ~



問 教育委員会の課題の現状は

答 コミュニティ・スクール導入

問 本町では「教育文化宣言の町」を標榜しているが、教育委員会では児童・生徒の学力などを含めた様々な課題の現状をどのように認識し、どのように議論し対策をしていく考えであるか。

ためには、家庭、学校、地域が今まで以上に一体となつて取り組む必要があり、令和6年度はコミュニティ・スクールの導入を進めていく。

答 更なる学力向上や不登校傾向の児童・生徒、家庭の教育力の向上等が課題であると認識し、解決の



問 農家所得の向上が課題の一つであるが、基本的な対策をどう考えているか。

答 生産量の増加には限られた農地であり、反収向上が重要だと考えており自給肥料や自給飼料の活用によりコスト低減を図っていく。

問 徳之島空港は別名「徳之島子宝空港」で子育てに適した島のような印象を与えています。この事について、実態をどのように把握されているのか（子育ての良さなど不利な面）

答 本町では子育て支援、環境において、出産の段階から、就学前、就学期における各種助成事業を行い、子育てしやすい環境づくりに努めている。不利な面は地

理的要因が大きく、経済的助成で補えないところだと考えている。

問 あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業について、施政方針に「引き続き奄美群島成長戦略推進交付金事業を活用し整備を進めていく」とあるが、現在の進捗状況と今後の予定はどのようなになっているのか。

答 あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業の進捗状況は、造成工事、杭工事が完



了し、現在、令和4年度の繰越予算で1階躯体工事を行っている。今後は、令和5年度繰越予算で、2階躯体工事、屋根工事、令和7年度から仕上げ・外溝工事を計画し令和8年度完成を目指している。

問 防災センター工事における交付金返納事件の裁判経過はどうなっているのか。

答 天城町防災センター未竣功工事に関する住民訴訟は、12月定例会以降、2月8日に第12回公判が鹿児島地裁で行われた。次回第回公判は、3月27日に行われる予定である。真摯に対応していく考えであり、最終説明は町長自ら行う。

問 土づくり・堆肥づくりの推進を

答 未利用資源の活用と高品質な堆肥の製造に取り組む

問 土づくり、堆肥づくりの推進と取り組みについて。

答 農業において、土づくりは基本中の基本であり、土壌改良資材や堆肥の助成を行ってきた。堆肥については、化学肥料の高騰などにより、その重要性は更に増しているところ。未利用資源の活用と高品質な堆肥の製造に向けて取り組んでいく。

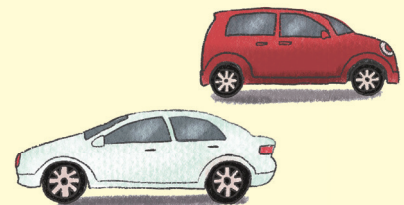
問 輸送コスト支援事業の拡充について。

答 奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事



平岡 寛次 議員

動画はコチラ
1:53:26 ~



養豚が対象となる。今後も、この事業の有効活用を行い農家所得の向上に繋げていく。

問 ライドシェア制度の導入について。

答 一般ドライバーが家用車を使って乗客を有償で運ぶ「ライドシェア制度」につきましましては、現在、国で検討が進められている状況である。県においてもタクシー協会との意見交換を行いながら、今後の具体的な方策を検討するとされている。本町においては、現在タクシー事業所がない状況にある。

荷品目を模索すると共に出荷体制の構築を図る。生産支援の品目につきましましては、新たに加工黒糖の段ボールを追加した。畜産物の追加については、成牛と

問 公共工事の発注時期と工期について。

答 公共工事の発注時期については、そ

の発注件数が第一四半期（4月～6月）に少なく、年度の後半に多くなる傾向にある。これを、一年を通して平準化するよう国交省から指導が出ています。町としても昨今の労働力不足の中、平準化は必須であると考えており、事業課を中心に全庁体制で工事発注時期計画を立てて、平準化に努めていく。工期についても、労働力不足により標準工期内に完成するのが難しくなってきたている。工事の種類などを考慮し柔軟に工期の設定をすることにより、工事の品質、工事の安全性の確保を目指していきたい。



久田 高志 議員

動画はコチラ
1:43:49～



問 県営畑地帯総合整備事業清算金事務の経緯は

答 換地処分公算日後要綱に基づき事務を遂行

問 県営畑地帯総合整備事業清算金に関する事務手続きの経緯はどのようになっているのか。

答 県営畑地帯総合整備事業の換地処分公告後、清算委員会を設立し、清算委員会が承認された要綱に基づき事務を進める事となっている。その主な内容については、換地との比

答 要支援、要介護認定につきましては、（本人・家族・病院）からの相談に対し、本人の日常生活状態の確認を行い、徳之島地区介護保険組合に介護申請を行って行く。

徳之島地区介護保険組合におきまして、認定調査員による基本調査（74項目）をもとに一次判定を行って行く。

保健・医療・福祉の学識経験者により形成される介護認定審査会（二次判定）において、認定調査員や主治医が申請者から得た情報を総合的に判断し、要支援、要介護認定が確定する。

審査結果につきましましては、役場から申請者の方に連絡をしている。

問 「うおっちょ」の運営状況はどのようになっているか。

答 昨年4月末にオープンしてから約10ヶ月が経過しました。現在、会計年度任用職員4名、短期勤務職員3名の計7名で、常時3～5名のシフト制で運営している。

経営状況につきましましては、決して芳しいものではないが、

今後も安心・安全な水産業の6次産業化を推進するとともに、商品力の強化を進め市場拡大や地場産魚の普及による観光PR、雇用の確保、漁業者の所得向上を目指していきたいと考えている。

なお、令和6年度は、試験的ではあるが、移動販売やインターネット販売を行い、市場拡大に努めていく。



天城町水産業振興拠点施設「うおっちょ」

令和6年第1回定例会を3月5日から21日まで開催しました。

当初予算や5年度の補正予算等25議案が提出され、すべて可決としました。一般質問では、8名の議員が質問を行いました。当初予算については当議会の常任委員会（総務文教厚生・建設経済産業）に審査が付託され、それぞれの委員会ごとで所管する課の予算内容の審査と現地確認を行いました。

▶ 建設経済産業常任委員会 ◀

令和6年度天城町一般会計・徳之島ダム小水力発電特別会計・水道事業会計、それぞれの歳入歳出予算について慎重に審議を行い、賛成多数で原案のとおり可決しました。また、当委員会の意見として、次の3点を執行部に申し入れました。

（意見）

1. 各種滞納整理については施政方針に基づき、税の公平性を担保するためにも財産調査・給与調査を行い、預貯金・土地などの財産差し押さえも積極的に実施すべきである。
2. 水産業振興拠点施設や獣肉処理施設等においては、食材・資材等の管理を徹底し、指定管理者制度へ移行すべきである。また、あまぎ自然と伝統文化体験館に併設される直売所に関しては開設と同時に運営できる体制を整えるべきである。
3. 公共工事については、工期に余裕が持てるよう適正工期で発注し、受注後の着手状況の確認も徹底し必要に応じて指導すべきである。



予算審査の様子



前野岡前横断改築事業費
（前野岡前横断線）



平和東線改築事業費（平和東線）

〈 委員会審査報告 〉

令和 6 年度予算を審査全会一致で可決

▶ 総務文教厚生常任委員会 ◀

令和 6 年度天城町一般会計・特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）それぞれの歳入歳出予算について慎重に審議を行い、賛成全員で原案のとおり可決しました。また、当委員会の意見として、次の 5 点を執行部に申し入れました。

（意 見）

1. 所得申告日を土曜日、日曜日に設けることで、町民の利便性を図ること。
2. ごみステーションへのごみ出しは、分別等の指導周知を徹底し、今後は生ごみ収集対策を図る必要がある。
3. 小災害見舞金は時勢に相応した金額に見直す時期である。
4. 各課の事業推進において、多くの町民からマイクロバス導入の要望があり早期に対応すべきである。
5. 税の滞納繰越分の収納対策を徹底すべきである。



防災関連施設整備事業費
(天城町老人福祉センター)



予算審査の様子



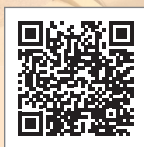
議会を傍聴してみませんか

手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴人受付票に住所・氏名を記入していただくだけです。

議会を傍聴することは町政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

また、A Y Tにて当日の生配信及び後日の再放送、インターネット動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)でもご覧いただけます。



天城町議会
You Tube チャンネル

◆ 編集後記 ◆

令和5年度はコロナ過の規制も無くなり町内行事も全て通常通り行われ3年間の規制で運営に戸惑いもありましたが、本来の活気づいた1年になったと思います。本町では農業分野の園芸に関し、夏場の作物としてさつまいもの試験栽培を40アールに植え付け収穫し、乾燥させて出荷する計画を行うと聞き今後の新しい農家の収入源になると思っております。本土では病害虫による生産量の低下も報道されておりますが、このサツマイモ栽培に関しては農家の方々が昔から自家用として栽培しておりましたが今後は土づくりから専門家を交えて研究するとの事で出荷先の業者との間で生産量を上げ、受け入れ体制も問題ないとお聞きしております。本町の農業収入の向上、安定した受け皿を心待ちにしております。この試験栽培が成功し令和7年度から多くの農家の参入にも大いに期待したいと思えます。

本議会でも取り上げられました建築業の専門職不足による工期遅延問題は現在全国でも大きな課題となり、今後の工事発注に関しても影響があり簡単には解決できないものだと理解しております。建設業においては現在、現場を支える人材が高齢化し専門的な知識スキルを求められる職種であります。この現状を理解して今後の町発注工事において工期に関しては細心の注意を払って計画して頂きたいと思っております。

3月議会は令和6年度の予算審議も行われました。各課の様々な事業への取り組み等も各委員会にて審議され新年度の新しい事業の始まりに期待するものとし編集後記と致します。

議会だより編集委員会 島 和也